安全教育

防災教育

児童がくり返し確認できるように，安全の記述を巻末にまとめました。

● 教科書 p.143-144 ●

安全に実習しよう

安全に実習を行うためには，どのようなときでも，家庭科室や机の上は整理・整とんしておくことが大切です。ゆかに余計な物を置いたり，調理台の引き出しやとびらを開けたままにしたりしないようにしましょう。また，常にどのようなことが起こるか予想し，対処できるようにしておきましょう。

なぜ，下記のことに注意するのか考えよう。

1 調理実習

始める前に

- 食器用のふきんと台ふきんは分けて使うため，2つとも準備する。
- 胃腸炎などの調子が悪いときには調理実習は見学する。
- アレルギーのある人と調理を行うときには，使用する食品に十分に注意する。
- 調理実習を始めるときには手をていねいに洗う。

手の洗い方

① 流水で洗い，せっけんをあわ立てる。 ② 手のひら，こう，指と指の間を洗う。 ③ 指先，つめ，手首を洗う。 ④ 流水で洗い，手をタオルなどでふく。

野菜を洗うとき

- 土などのよごれをしっかり洗ってから調理する。特に生で食べる場合には，ていねいに洗う。

包丁をあつかうとき

- 食品をおさえた手の指先を切らないように軽く丸める。 リンク p.17
- 包丁を置く場所を決め，使わないときはもとの位置にもどすようにする。
- 包丁を持ったまま歩かない。運ぶときはバットに入れるなど安全に気をつける。
- 包丁を人に向けない。友達にわたすときには直接わたさずに一度台の上に置いてわたす。また，えの部分（刃のみねの方）を相手の方に向けて置く。
- 包丁を置くときは安定した場所に置く。

加熱用調理容器をあつかうとき

- 換気扇を回したり窓を開けたりして換気を行う。
- 燃えやすい物をガスこんろのそばに置かない。また，こんろを使っているときはそばをはなれない。
- なべ底からほのおが出ないようにする。

- フライパンやなべなどは，火にかけているときや火からおろしたばかりのときは，熱い部分があるので持つ部分に注意する。
- やかんやなべのふたを開けるときには，蒸気が熱いので，のぞきこまない。ふたに付いている水滴も熱くなっているので，十分に注意する。
- なべからふきこぼれがあったときには，一度ガスせんを閉めて火を止めてから，再度ふきこぼれないような火加減で火をつける。
- ガスもれに気づいたらガスせんを閉め，窓や出入口を開ける。もれたガスに火がつくおそれがあるので，電気のスイッチやコンセントにふれない。

143

2 製作実習

針やはさみなどをあつかうとき

- たちばさみや糸切りばさみ，針などを持ったまま歩き回らない。
- はさみの刃先や針の針先などを人に向けない。
- 使用前後には針の本数を確かめる。
- 針が折れたら，折れた先を探し，折れ針入れに入れる。
- 針を使わないときは針さしにさす。

コンセントを使うとき

- ぬれた手でプラグにさわらない。
- コンセントにプラグを差しこんだり，ぬいたりするときは，コードを引っ張らないで，プラグを持つ。
- プラグ以外をコンセントに差しこまない。

ミシンをあつかうとき

- よそ見をせず，手元をよく見る。
- ほかの人がミシンを使って作業をしているときには，体やミシンにふれない。
- コントローラーを使う場合，ぬうときだけ足をのせ，ゆっくりふむ。
- 使う直前に電源を入れ，使い終わったら電源をすぐに切る。

アイロンをあつかうとき

- 水平な場所に置いて作業する。
- やけどに注意する。
- 使用中はそばをはなれない。
- コードが荷物や人に引っかからないよう，周囲が広い所で使う。
- 次に使うまでに時間があるときは，電源を切る。
- 冷めてからかたづける。

3 地震が起こったとき

- 包丁や食器などが置かれている調理台や，ミシンなどが置かれている作業台からはなれ，安全な場所（物が落ちてこない，たおれてこない，移動してこない）に移動する。

- こんろに火がついている場合やこんろの上に熱くなっている物が置いてある場合は，こんろのそばからはなれる（火が消せそうな場合に限り，消してからはなれてもよい）。ゆれがおさまったら，器具せんとガスせんを閉める。
- 包丁などを持っている場合は，流し台の中に置いた後，調理台からはなれる。
- ゆかに物が落ちていたり，ぬれていたり，食器が落ちて割れていたりする可能性があるので，足元に十分注意して避難する。

44

食物アレルギーへの配慮も掲載！

● 教科書 p.14 ● いつも確かめよう

いつも確かめよう 調理の手

1 計画する・準備する

- 何を作るか決める。
- 材料とその分量を決め，準備する。
- 必要な用具や食器をそろえる。 リンク p.8
- 身支度をする。（➡図1）
- 手を洗う。 リンク p.143
- 食物アレルギーの確認をする。

● 教科書 p.15 ● 本文

私たちは毎日の食事で，さまざまな食品をいろいろな方法で調理し，食べています。調理することで，どのようなよいことがあるのでしょうか。

ここでは初めての調理に挑戦します。調理をするときは，準備から後かたづけまでの見通しを持って作業を進めることで，手際よく調理することができます。また，安全で衛生的に調理することが大切です。食物アレルギーがある場合には，食べられる食品かどうか確認しましょう。

では，食品をおいしく安全に食べるために調理の手順について考えましょう。

● 教科書 p.110 ● 材料の準備

加工食品（豆腐，ちくわ，ベーコンなど）

- 品質表示や食物アレルギーの表示を見て，原材料，内容量などを確かめる。

本編では，マークを付け，安全についての注意喚起をしています。

● 教科書 p.25 ●

安全

- さいほう用具箱の整理・整とん
  - 必要な用具をまとめ，整理・整とんしておく。
- 針のあつかい方
  - 針先を人に向けない。
  - 針は使う前と後で，本数が同じか確かめる。
    ぬい針　本　まち針　本
  - 針が折れたら，折れ針入れに入れる。
  - 手から針をはなすときは，針さしにさす。
- はさみのわたし方
  - はさみをわたすときは，刃先を相手に向けない。

リンク p.144

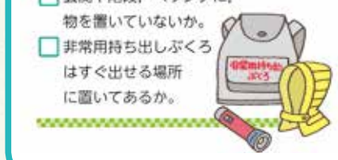
マークとともに，日頃から防災について考えられるコラムを掲載しています。

日々の備え

日々の整理・整とんは防災にもつながります。災害で避難するときに，部屋が散らかっているとにげ道をふさいでしまったり，けがをしてしまったりすることがあります。また，避難するときに必要となる懐中電灯や防災ずきん，非常用持ち出しぶくろの場所も日頃から確認しておきましょう。

ここをチェック！

- □ 地震が起きたときに落ちてきそうな物はないか。
- □ 玄関や階段，ベランダに，物を置いていないか。
- □ 非常用持ち出しぶくろはすぐ出せる場所に置いてあるか。



● 教科書 p.52 ●

地震が起こったときどうしたらよいか，児童自身にも分かっていてほしい，という現場の先生の声から新設しました。

日々の備え 針と糸

針と糸は，防災用品といっしょにいつでも持ち出せるようにしましょう。衣服のほころびを直したり，とれたボタンを付けたり，着る人に合わせて服を直したり，きっと役に立ちます。

● 教科書 p.30 ●

● 教科書 p.43 ●

日々の備え なべでたくご飯

今は電気炊飯器でたくことが多いご飯も，昔はかまどにかま（羽がま）をかけ，まきで火をおこしていました（右図）。炊飯器が使えないときには，なべでご飯をたいた経験が役に立ちます。計量カップやはかりが手近になくても，別の容器で米の体積を確認し，およそ1.2倍の水を加えればよいのです。

食育

家庭科では，食育の視点を生かした指導が期待されています。この教科書は，学習指導要領はもちろん，食に関する指導の手引－第1次改訂版－（平成22年3月）に示された「食に関する指導の目標」にも対応しています。

第10大題材では，朝食の大切さや栄養のバランスがよい食事の重要性を学びます。

① 食事の重要性

全大題材を通して，食事の重要性を考えさせます。また，ともに食べる楽しさも実感できます。

② 心身の健康

栄養のバランスがよい食事の重要性はもちろん，規則正しい生活時間についても学び，自らの心身の健康を意識します。

● 教科書 p.78 ●

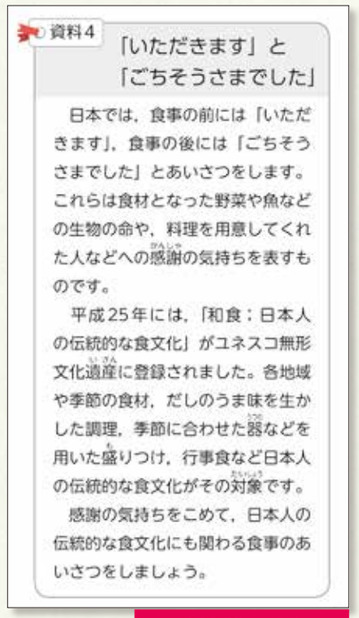
③ 食品を選択する能力

食品を選ぶときのポイントや，買い方などを学び，自らの判断力を養います。

● 教科書 p.110 ●

④ 感謝の心

食事前後のあいさつの大切さなどを学び，食事に関わるすべての人々へ感謝する心を育みます。



● 教科書 p.23 ●

⑤ 社会性

食事の準備や後かたづけなどを協力して行ったり，マナーを考えたりすることが，相手を思いやり，楽しい食事につながることを実感できます。

● 教科書 p.23 ●

⑥ 食文化

伝統 マークとともに，日本の文化を紹介し，日本の食文化の理解を深めます。

● 教科書 p.44 ●

● 教科書 p.49 ●

「日本の伝統」マークとともに，大切な日本の文化を紹介しています。

児童が生活文化の大切さに気付くことができる資料が豊富にそろっているよ。

食育に関する指導の目標は，家庭科の食生活に関わる学習（p.15, 40, 78, 106）すべてと密接に関連。

日本の伝統

食生活に関わることだけでなく，家族・家庭，衣，住，消費・環境生活すべての大題材で，日本の伝統的な生活に関わる資料を取り上げています。

● 教科書 p.94 ●

● 教科書 p.89 ●

● 教科書 p.63 ●

● 教科書 p.57 ●

キャリア教育

地域の人々や各界のプロのインタビュー記事を掲載しています。児童の，仕事や生活への興味が高まります。

グローバルな視点も掲載し，日本の生活文化の大切さに触れることができます。

プロに聞く！
古い着物などをリフォームするデザイナー
クレモンティーヌ・サンドネールさん

自分で洋服などのデザインをするときに，美しさを求めることは大切ですが，使いやすさを考えることも必要です。私は，デザインとは日常の中に美しさを生み出すことだと考えています。季節の移り変わりは，自然の色の移り変わりだと思います。着物生地には季節がえがかれたがらの物が多く，それが大好きなので，着物を用いてデザインしています。50年前の生地を使うこともありますが，そのデザインがとても現代的であることにも驚かされます。

私が利用する古い着物は，季節に合わせて着たり，行事のときに着たりしていたと思われます。古い生地には美しさや思い出がつまっていますし，すばらしい技術を使って織られた生地もあります。こうした古い布の美しさ，価値が少しでも長持ちするように，私は新しいデザインで新たな命をあたえるのです。

● 教科書 p.105 ●

プロに聞く！
日本料理
料理人　中東 久雄さん

こんぶだけ，またはかつお節だけで取っただしを飲んだときより，こんぶとかつお節のだしを合わせた物を飲んだときのほうが，おいしく感じられます。それぞれの素材の持つよいところが引き出されるのです。素材の持つ味を大切にすることは和食の特徴です。

料理をする人は，おいしく食べてくれる人がいるから，健康な体になってほしいと願うからこそ，一生懸命になって作るのです。みなさんも作ってくれる人に感謝して，買い物や洗い物など自分でできることをしてみてください。

● 教科書 p.48 ●

持続可能な社会を目指して

持続可能な社会の構築を，消費者教育とあわせて，一つの大題材として大きく扱いました。持続可能な暮らしへ向けて，児童自身「何ができるか」を考えていきます。

● 教科書 p.35 ●

● 教科書 p.32 ●

言葉　持続可能な社会／限りある地球の資源を大切にし，未来に残していく持続可能な社会に向けて，今，世界中で多くの動きがある。エネルギーや物の使い方を考え，環境にやさしい消費行動から始めよう。

この大題材は，SDGsの目標の一つである「つくる責任つかう責任」にもつながります。p.32

環境へ配慮して生活するための視点をマークとともに，掲載しています。

● 教科書 p.111 ●

地域の人々との関わり

家庭や地域とのつながりを考える実践が充実しています。

資料2　地域を笑顔に　～福島県の小学校6年生の取り組み～

●入学直前に東日本大震災
私たちは小学校に入学する直前に東日本大震災を経験しました。避難指示解除後，2014年度から本校舎での学習が再開されました。1日でも早い地域の復興を願い，小学生の私たちが，地域のみなさんを笑顔にし，私たちの地域を元気にしたいと思いました。

●家庭科で生かせる力
私たちは，学校の畑で育てたきゅうりを使って，地域の特産品を作れないかと考えました。地域の人々の協力を得て，私たちのアイディアをもとにキュウリマンジャムを作ることができました。その際に家庭科で学んだことを生かして，きゅうりの調理，びんに付けるラベルの作成，キュウリマンの衣装の製作，きゅうりを使った料理の提案などを行いました。
学校祭のときには，キュウリマンジャムとお茶で地域の人々をおもてなししました。

●地域を元気に
地域の祭りに参加し，キュウリマンジャムを地域の人々にしょうかいしました。たくさんの人に買んでもらうことができました。自分たちが作ったジャムを食べ，小学生でも自分たちの力で地域のために行動することができると思いました。

手ぬぐいで首ぐるみを作り，地域の方々にPRしたよ。
家庭科の学びを生かして，きゅうりを使った料理を考えたよ。
地域の祭りの参加方法を地域の人と相談したよ。

家庭や地域をよりよく，元気にしていこうとする児童の実践を豊富に掲載しています。

● 教科書 p.126 ●

他教科関連，カリキュラム・マネジメント

他教科の学習内容と生活を家庭科で結びつけます。

理科３年
●太陽と地面の様子
理科４年
●金属，水，空気と温度
体育６年
●病気の予防

● 教科書 p.88 ●

他教科での学習内容と生活を結びつける関連マーク。

社会３年
●地域に見られる生産や販売の仕事

● 教科書 p.110 ●

道徳１・２年
●家族など日頃世話になっている人々への感謝

● 教科書 p.122 ●

小学校英語との関連を図る英単語をページ数横に掲載。

summer　87　88　夏　iron　69　70　アイロン

小中関連

関連マークとともに，中学校の内容も掲載しています。

中学校技術・家庭　家庭分野
●生の魚や肉の調理

● 教科書 p.107 ●

２年間のまとめ p.9 や，生活を変えるチャンス！ p.13 も，小中のつながりを考えているよ。

特別支援教育への配慮

教科書全体を通して，特別支援教育への配慮をしています。

すべての大題材が同じ構造のため，児童が安心して授業に取り組むことができる。

導入の構造 p.6

すべての大題材が，タイトル→家庭科の窓→リード文→学習の流れ→ステップ１という流れで構成されています。

3 ステップ構造 p.10

すべての大題材が，ステップ１→２→３の流れで進むので，誰もが問題解決的に学習に取り組めます。

実寸大写真で道具に触れる不安感を解消。

実寸大写真に手をのせて，まねをすることで，実習のイメージを持つことができます。

写真とイラストを組み合わせた分かりやすい紙面です。
左ききの児童にも対応しています。

● 教科書 p.130-131 ●

ユニバーサルデザイン

誰もが使いやすい教科書を目指して，ユニバーサルデザインに取り組みました。

カラーバリアフリーを実現。

外部の専門家に検証を依頼し，デザインしました。
色や形など，線の種類を変えて，グラフを読みやすくしています。

● 教科書 p.79 ●

ユニバーサルデザイン教科書体を採用。

字形を判別しやすく，読み間違えにくいという特徴（ユニバーサルデザインフォント）はもちろん，教科書体の特徴をあわせ持ったフォントを，本文に使用しました。

その他のフォント

新しいフォント

デジタルコンテンツ

Dマークがあるところでは，インターネットに接続し，URLや二次元コードにアクセスすると，基礎技能などの動画を見ることができます。

● 教科書 p.136-137 ●

基礎技能動画を中心とした14コンテンツ

D マークコンテンツ一覧

教科書ページ数	内容	教科書ページ数	内容
17，131	包丁の使い方（右ききき）	27	玉どめの仕方
17，131	包丁の使い方（左ききき）	52	修理の仕方
18，132	皮のむき方（右ききき）	68，137	布のたち方（右ききき）
18，132	皮のむき方（左ききき）	68，137	布のたち方（左ききき）
26	玉結びの仕方	86	夏の住まいの工夫
26，135	なみぬいの仕方（右ききき）	116	冬の住まいの工夫
26，135	なみぬいの仕方（左ききき）	143	手の洗い方

このマークが目印です。

インターネットに接続するときは，右記の二次元コードやアドレスのどちらからでもアクセスできます。

https://tsho.jp/02p/ka/